

第16号

平成24年1月1日発行
発行所

医療法人社団 七徳会
魚津病院・魚津老人保健施設
〒937-0806 富山県魚津市友道789
電話 (0765) 24-7671 (病院)
(0765) 24-7691 (老健)
FAX (0765) 24-7157

魚津老健ふれあい支援事業所
高齢者賃貸住宅ぬくもりハウス
ぬくもり訪問介護事業所
〒937-0806 富山県魚津市友道777
電話 (0765) 24-7617 (居宅)
(0765) 24-7681 (ぬくもり)
FAX (0765) 24-7197

片貝診療所
〒937-0033 富山県魚津市島尻850-1
電話 (0765) 32-7222
FAX (0765) 24-7223

特別号

ふれあい

題字：扇谷 利二
(七徳会 第三代理事長)

皆様方におかれましては、新しい年をお迎えになり、日々穏やかに過ごしていることと思います。昨年の四月に、皆様方のご推挙により会長に就任し、早九ヶ月が過ぎ、また同会の活動に携わり数年が経過する中で、この間の活動を改めて振り返り、家族会の必要性を新たに感じているところです。それは、様々な活動(運動会や夏祭り、家族交流会、研修会など)を通して、家族同士の絆を深めることはもちろんですが、職員の方々との協力のもと、入院患者及び入所利用者の方々が、同施設を今まで以上に利用しやすくするために意見を出し合い、時には厳しい提言をしながら活動してきたことにあると考えています。今後の、高齢化社会に拍車がかかる時代の中で益々重要になってくるのが人と人のつながりです。家族会・地域・病院・施設が連携して、病院・施設を訪れた方が気軽にあいさつできる環境づくりと人づくりのために努力していきたいと考えています。会員の皆様方の温かいご理解とご支援をお願いいたします。



家族会会長
常楽 悟

家族会の必要性

研究発表

七徳会家族会活動の充実を図る!



6月30日から7月1日にかけて、北海道において第19回日本慢性期医療学会が開催されました。当病院より、相談員の中村円が『「家族会って参加して為になる!そして楽しい!」を目指して』と題して、研究発表を行いました。今までの活動を分析し、今後への対策を述べ、これからは家族会役員と協力し、充実した家族会活動を実施していくことを発表しました。会場からは、「今までもたくさんの活動を家族と協力して行っており、良い方向に向かっている。今後も頑張りたい。」とコメントがありました。

ベストオブ家族会活動



～病院全体が癒しの音楽に包まれました～

6月11日、家族会初企画「ジューン音楽会」を開催しました。今回の音楽会は、車椅子で行事参加は出来ない、けれども・・・ベッドであれば参加できる方を優先に、ご家族と一緒に参加して、音楽を楽しんでいただく空間作りを目的としました。

会場では、新川高校吹奏楽部の演奏を聴き、会場に参加できない方には、館内放送でクラシック音楽を流し、音楽を楽しんでもらいました。

ご家族がご本人の肩をたたきながら音楽を聴いているほのほとした光景がみられました。



新企画でしたが、好評だった為、家族会企画の恒例行事として、来年も開催し続けたいと思います。

ボランティア紹介

やすらひだひとときを園児と共に



7月13日に園児慰問交流を魚津老人保健施設で行いました。魚津保育園年長児25名が来所。交流は誕生会にちなみ、ハッピーバースデーの可愛い歌声から始まり

ました。「ハンドベル演奏」「大きくなったら、なりたいことの発表」「よさこい踊り」を披露。微笑ましい様子に、「上手やね。頑張ってるね。」と拍手や手を振って、喜んでいました。最後に「おじいちゃん・おばあちゃんの歌」に合わせて、肩もみしてもらいました。利用者から「ありがとう、うれしかったよ。またおいで」の声がかり、握手でお別れとなりました。



映画と講演

大宮浩一監督

「ただいまそれぞれの居場所」

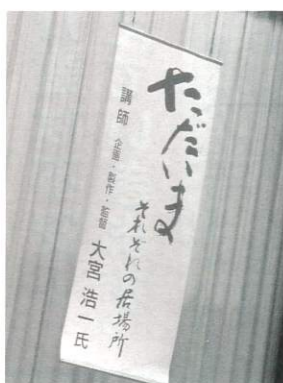
十月十四日、新川文化ホールにて研修会が開催され、映画鑑賞の後、監督の講演を聞きました。

二〇〇〇年に、介護保険がはじまって以来、介護サービスが盛んに行なわれるようになりましたが、その一方で、介護を必要としながらも、制度の規範にあわず、受け入れてもらえないといった人々も少なくありません。そうした現状をふまえ、自分の理想とする介護を展開しようと開設された事業所や施設を訪ね、その介護の現場で働く人々に密着して、多種多様な介護の実態を、生々しく、印象深く描き出している作品でした。

人出不足や低賃金などの問題ばかりが取り上げられがちな介護の現場ですが、この映画からは、介護職員が利用者やその家族と深くかわり、一律に決められた介護ではなく、一人一人にふさわしい介護をめざし、その人がその人らしく普通に生活できるように、努めている様子が温かく伝わってきました。

大宮浩一監督は、「施設から、受け入れを断られた人たちを受け入れようと乗り出してきた若者達のパワーは素晴らしい。地域やその人に合ったケアはある。介護は家族だけが行うのではない。」と、人とのつながりの重要性を語られました。

それぞれの居場所を見つけて、明るい老後を迎えたいものです。



シルバーライフを健康で明るく

医療法人社団 七徳会

魚津病院 ★ 魚津老人保健施設 ☎ (0765) 24-7691
魚津老健ふれあい支援事業所 ☎ (0765) 24-7617
ぬくもり訪問介護事業所 ☎ (0765) 24-7681

ボランティア募集

- ご利用者のお話し相手
- 行事イベントのお手伝い
- 特技を生かした作業活動 等々

お気軽にご連絡ください。お待ちしております。

□ 本誌は再生紙を利用しています。

医療的処置の迅速さが良いですね。

事務長 お忙しいところ、ありがとうございます。本日は、本人の複数のサービスをご利用の家族の皆様に参加していただき、ありがとうございました。沢山ある病院・施設の中から当事業所を選んでいただいた理由についてお聞きします。

Aさん 姑がお世話になってます。介護と医療専門の施設を利用し、精神的に安心しました。職員の方は、本人の状態をその都度報告してくださり、挨拶や声掛けも気持ちよく、とても感じが良かったです。

Bさん 相談の為、最初に戸を叩いたのが魚津老人保健施設でした。初めての利用で、心配していたのですが、父の性格を職員の皆さんに分かっていただき、コミュニケーションの機会も徐々に増え、今では、職員の皆さん

と仲良くなってもらい、安心しておまかせしています。

Cさん 母がお世話になっていました。介護保険が始まる前、リハビリをお願い出来ないかと飛び込みで来て、老健を利用してからのお付き合いでした。デイケアから老健、介護病棟、医療病棟と十三年間お世話になりました。職員の方の厚い介護の迅速さが良いですね。

Dさん 姑がお世話になってます。デイから利用し、十年以上お世話になってます。体調を崩す事が何度ありましたが、その都度、先生に助けをいただいていたので感謝しています。



やはり、在宅介護は不安！法人は支えていきます。

事務長 国には施設介護より在宅介護との動きがありますが、これまでの介護体験を踏まえ、今後の介護・医療の在り方についてどう思われますか。

Dさん 自宅で一日介護するのは大変でした。やはり施設や病院で見てほしいのが本音です。永井 そうですね。介護者の大変さも理解しています。C様の場合、限界ギリギリまで在宅介護で苦勞され、ケアマネジャーとして心苦しく思っていました。

Bさん 在宅介護では、認知症の対応に困りました。本人が一

番大変だと思えますが、介護者もまた不安です。介護者をフォローしてもらえたら良いと思います。症状が重い時の介護は家でも施設側でも一番大変です。在宅介護が限界になった時、施設を利用させていただければ良いと思います。

Cさん 在宅介護は不安です。自宅で一人で介護していたので、胃ろうを造る前は、必要な栄養を摂らねばならないのに食べられない、のどに引っかけたらどうしよう、何を食べさせればいいのか、など心配してました。また、介護者は自分しかいなかったことも不安でした。現在、私としては、自分が年をとったとき、国民年金でどれだけやれるのか不安に思っています。自宅で生活することが理想ですが、現実問題として、将来自分に介護が必要になった時、最終的には施設でお世話になりたいと思います。まずは、外出など、自分で身のまわりの事ができる時に、ぬくもりハウスに入居したら良いのかなと思っています。

も大きかったと思います。施設や病院に入り、「自宅で介護したら、施設をいつ利用できるのか」という心配があります。そう思うと、なかなか家に連れて帰りづらなのが現状ですね。当法人では、在宅介護と施設利用がスムーズにいくように老健の相談員と連携を図っています。在宅介護の間は、私がケアマネジャーとしてお手伝いさせていただきます。自宅で病気が食事が摂れなくなった時など、急性期治療の病院への入院もありますが、魚津病院でも治療できる場合もあります。在宅で問題が生じた時、全く知らない事業所でケアを受けるのではなく、その方にあった法人の各種サービスがスムーズに受けられるようにシステムが必要だと思います。在宅介護が限界になった時に、ご家族のこれまでの介護に対する頑張りや評価をそれに応えるような法人のサービスの利用を考えていけるとよいと思います。



特集 14 魅力ある病院・施設を目指して 座談会 ~安心して過ごしていただけるような施設にしたい~



左から時計回りに 武隈睦子様(武隈笑子様ご家族)、澤田孝子様(澤田君子様ご家族)、丸本真紀様(丸本秀雄様ご家族)、倉元泰子様(倉元すみ子様ご家族)、大田亨院長、永井茂野ケアマネジャー、中川正昭事務長 =10月4日・2階 会議室=

魚津病院・魚津老人保健施設は生活全体をケアしています。

事務長 在宅介護、デイ、老健病院を利用されて、家族としてのお世話を聞かせてください。

Cさん 他の施設に入った時、歩いて入所しましたが、退所時には、床ずれができ、歩くどころか立てなくなり、加えて食事もお食えない状態になりました。そんな状態で魚津病院に入院しました。魚津病院では本人に合った対応をしていただき、床ずれも治り、感謝しています。

Bさん 父は「食べられるようになり、体調も良くなって家に帰りたい。」と強い意欲を持ち、院長先生の言う事を聞いて療養して頂きます。老健や医療病棟などそれぞれの場所で、その時の状態に合った最善の方法で関わっていただいています。

Aさん 転んで骨折をして老健から総合病院に入院しました。

入院後、目つき、言葉遣いが変わり、孫も「ばあちゃんの顔を見るのが怖い」と言うほどになりました。もともと認知症もあったのですが、環境も変わり、職員の介護や言葉がけなどの対応が変わったことで、本人なりにショックだったんだと思います。魚津病院に移り、しばらくするといつもの所で安心したのか、ここやかな母になり、ほっとしました。

永井 総合病院とは違い、魚津病院・老健施設は生活全体をケアしています。ケアマネジャーとしては総合病院を最短期で退院していただき、早く元の生活に移行できるように援助しています。院長 当法人から何らかの状況で総合病院に入院された場合、必ず戻っていただく方針です。病院の稼働率が悪くなっても、

戻ってこれるのを待っています。急性期の治療が終了すれば戻れることは勿論ですが、精神的に問題が生じた場合は、なるべく早く戻っていただき、慣れた環境で落ち着いていただきたいです。

事務長 病院の対応で不満に思われたことがあればお聞かせください。

Cさん 少し言わせてもらえれば、介護病棟から医療病棟へ移動した際、各部署でのケアの仕方や方針が違うのか、理解できない部分がありました。移動の時は説明してくださると助かります。

永井 在宅におられる方は生活様式や病気も違う。主治医も病院内や開業医とバラバラです。ですから、治療方針や自宅療養についても違います。ご家族の考えも違います。そんな中で、在宅のケアマネジャーとして、一人ひとりの状況に合わせて介護や看護のお手伝いをさせていただきます。



家族会の研修でいろんな情報を流してほしいです。

事務長 最後に魚津病院・魚津老人保健施設にどんな要望があるか、介護体験を踏まえてご意見を聞かせてください。

Bさん 父は老健を利用していき、男性ゆえか、プライドがあり、なかなか馴染みませんでした。みんなが集まるフリーな時間に、本人の興味に合わせた時間の過ごし方をさせてほしいです。また、介護をしていく内にその人の好みや判ってくると思うので、それをやっていただけたらと思います。例えば、習字が好きだった母は、他の施設にいた時、認知症状が落ち着いてきたら、うまく字を書きました。習字を書き始めた事で、気持ちが落ち着いたように思います。

Cさん 母が、食事を摂ることが難しくなり、胃ろうを考えたとき院長先生から分かりやすく説明を伺い理解できました。しかし、決めるのは母の夫と息子ですが、知識が少なく、なかなか理解は難しいようでした。胃ろうについては家族会の研修会で院長先生に話してもらったのが良かったです。とても勉強になりました。今後も家族会の研修などを利用して家族が胃ろうを流してほしいと思います。

Aさん 院長先生の胃ろうの講演はすごく勉強になりました。Bさん 医療知識もない自分が



注 個人情報保護の観点から、発言者をアルファベット表記にしました。